



大須賀 林
自民党市議団
・無所属の会

蒲郡の山歩きと健康について

問 健康面から山林を歩くことの効果はあるのか。

答 里山を歩くことや森の中でハイキングを楽しむことは、森林の空気を全身に浴びることができ、ストレス解消やリラクゼーション効果があると言われている。また、森林が健康に良い影響を与えることは、多くの研究や科学的根拠でも示されている。

ストレス社会の現代日本において、森林を歩くことは、森林の持つ、リラクゼーション効果や免疫力の活性化、歩くことによる運動効果、そして、舗装されていない土の上を歩くことで五感を刺激するなど、健康面においても、様々な効果があると考えている。



問 砥神山等ハイキングの際、犬口グラウンドを駐車場として使用してはどうか。またトイレはあるか。

答 犬口グラウンドには、未舗装の駐車場が16台程度ある。砥神山等ハイキングの際の駐車場としての使用については、グラウンドの利用に支障のない範囲であれば問題はない。

ただし、ハイキングイベント等多くの参加者が駐車場を利用する場合は、指定管理者に施設の予約状況を確認調整の上で、利用してもらいたい。
なお、トイレはグラウンドの入口横に設置している。



牧野 泰広
自由クラブ

高齢者の移動手段について

問 蒲郡自動車学校で認知機能検査をやったことだが、なぜやめたのか。危険回避の観点から再開すべきでは。

答 県に確認した所、県内統一して自動車教習所の認知機能検査をやめ、教習所の負担を軽減する取組を行ったとのことである。現在は県の方針により、蒲郡自動車学校での認知機能検査は行っていないが、市民の利便性の向上が期待できるのであれば、検査再開について県と相談していきたいと考えている。

問 生まれくる子どもが年間450人程度になっている中で、現

地区個別計画について

状の7中学校を維持するのは困難と考える。配置の見直しを早急に考えるべきではないか。

答 過去に資料として用いた人口推計よりも早いペースで、年少人口が減ってきていると認識している。来年度、公共施設マネジメント実施計画の見直しを予定している。実施計画には、人口推計やコスト等を踏まえ、施設保有量の削減などの目標を掲げており、検証することになる。地区個別計画の見直しについては、公共施設マネジメント実施計画の見直しの内容を踏まえ、あわせて検討していきたいと考えている。



芦川 純奈
自民党市議団
・無所属の会

市内の分娩できる医療機関が市民病院のみになること

問 現在の蒲郡市民病院で対応できる分娩件数と、医師や助産師の人数を伺う。

答 分娩件数について、令和7年4月から6月までの当院の分娩予定件数は46件であり、前年同時期と比較して、12件増加したが、現状、お産受け入れの制限はない。医師については、7年6月現在、常勤3名、大学から派遣の非常勤医師2名で、計5名体制。助産師は、常勤・再任用職員が11名、会計年度任用職員が3名の計14名体制である。

問 今後の体制強化のための医師や助産師の増員と確保について取組状況と見込みを伺う。

答 産婦人科医師は、名古屋市立大学医局や民間医師派遣会社等を

活用し、確保に努めている。助産師は、新卒採用試験により1名と、現役看護師の助産師免許取得により、来年4月に2名が増員する予定である。

問 新たな分娩方法の導入の見込みを伺う。

答 今後の無痛や和痛の分娩方法の可能性を想定して、新たな分娩台を導入する補正予算を本議会で提出している。無痛・和痛分娩の実現には、専門的な研修を受けた麻酔科医の確保や、助産師や看護師の無痛・和痛分娩の専門知識の取得等も必要となる。7年度中の運用開始を目指し、体制を整えたい。



蒲郡市民病院